



善福寺川緑地の桜



杉並区立東原中学校 4月号

教育目標

- 自 主
- 感 性
- 共 生

感動した東原中学校校歌合唱

校長 小松 進一

—4／5始業式・4／6入学式—

正門の桜が満開の中、平成31年度の始業式と入学式が行われました。保護者の皆様、お子様の御進級、御入学おめでとうございます。

今年度4月1日に着任いたしました、校長の小松進一と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、東原中学校の生徒の第一印象ですが、大きな声で挨拶をし、元気で明るい子どもたちであるなと感じました。それは、始業式の前日に、職員昇降口で靴を履き替えていた私のところに、ある部活の女子生徒数名が駆け寄ってきて『ここにちは。新しい校長先生ですか。よろしくお願ひします。』と声をかけてくれました。少々緊張していた私にとって『うれしい』気持ちにさせてくれました。

翌日の始業式、翌々日の入学式で驚かされたのは、生徒たちの校歌合唱でした。しかも、ア・カペラ四部合唱。こんなにも大きな声で、そして、きれいに思いを込めた校歌合唱は、私にとって初めての経験でした。東原中学校の校歌は、広く地域・保護者・教職員・生徒に呼びかけて公募したものをもとに作られたそうです。ですから、作詞・作曲に保護者（Parent）・教職員

（Teacher）・生徒（Student）の共同の作品であることを意味する「東原P T S」と記されています。いろいろな人たちがかかわり、願いが込められた校歌です。今、この校歌をア・カペラで合唱しています。それは、東原中学校の伝統となっています。2年生の作文に、このようなことが書いてありました。『「あいさつ」は先生、先輩、来賓の方など、どこでも、誰にでも、大きな声で積極的に笑顔ですることを心がけていきたいです。また、同級生にもあいさつすることを忘れずに取り組んでいきたいです。校歌では四部合唱、ア・カペラという東原の伝統をさらに良いものにしていきたいと思います。後輩に教えるときにも、優しく丁寧に教えることを心がけたいです。』と・・・。

私は、東原中生が「あいさつ」をよくする、「校歌」をとても大きな声で歌うと聞いていましたし、実際にその通りだと思います。おそらく、作文にあったような気持ちをもった生徒が多いからなんだろうと思います。これが、東原中の伝統なのかもしれません。

東原中学校は、今年度創立70周年になります。良き伝統をしっかりと受け継ぎ、さらに進化させたいと思いますので、保護者の皆様そして地域の皆様、今年度も御支援、御協力をお願い申し上げます。

今後の予定

4月

- 21日(日) 区議会議員選挙
 - 22日(月) 生徒朝会・専門委員会・学校委員会
 - 24日(水) 内科検診（1,3年）校内研修会
 - 25日(木) 眼科検診・部活動集会
 - 26日(金) 地区班集会・色覚検査・離任式
 - 29日(月) 昭和の日
 - 30日(火) 休日
- 5月
- 1日(水) 新天皇即位
 - 2日(木) 休日
 - 3日(金) 憲法記念日

5月

- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) 区特定課題調査・安全指導
- 8日(水) フレンドシップスクール（1年）始
- 10日(金) フレンドシップスクール（1年）終
- 11日(土) 土曜授業・避難訓練・PTA運営委員会
- 13日(月) 生徒朝会・校内研修会
- 14日(火) 生徒総会・腎臓検診一次
- 15日(水) 部活動保護者会・腎臓検診一次予備日
- 16日(木) 中間考査始～17日(金)